

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	Rosetta柴原		
○保護者評価実施期間	2026年 3月 1日 ～ 2026年 3月 29日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	8 (回答者数)	7
○従業者評価実施期間	2026年 3月 1日 ～ 2026年 3月 29日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5 (回答者数)	3
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 4月 16日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	高い満足度と安心感・信頼感のあるアットホームな支援環境	・通所を楽しみにする子どもが多く、保護者満足度100%の極めて高い評価を獲得。 ・「アットホームで安心できる」「思いを受け止めてもらえる」と温かい雰囲気の評価されている。	・子どもたちの「できた!」を増やす達成感のある活動の充実と笑顔での歓迎の継続。 ・浴室等施設利用時の工夫や介助負担軽減など、保護者フィードバックを迅速に還元。
2	個別ニーズに応じた専門的支援と計画の誠実な運用	・専門職(PT/OT/ST等)との連携や個別リハビリ、送迎時の見通し伝達など特性に応じた支援を実施。 ・個別支援計画のアセスメントやガイドライン各領域の設定・同意取得を100%適切に運用。	・専門職との定例カンファレンス開催と、特性に応じた支援手法の全職員共有。 ・成長段階に応じた目標の適時見直しと、目標達成状況の分かりやすいフィードバック。
3	日常的な情報連携とLINE等を活用した丁寧なコミュニケーション	・連絡帳や送迎時対面での密な状況共有に加え、LINE等で当日の活動様子や写真を定期共有し好評を得ている。 ・保護者の悩みや相談に親身・受容的に対応する姿勢が定着している。	・多忙な保護者でも確認しやすい連絡形式の工夫と写真付き報告の継続。 ・事業所だよりの定期発行や行事予定の早期案内による情報透明性の向上。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域交流・他施設との連携機会の不足	・地域交流(保育所・児童館・他施設等)の機会が「はい」率14.3%(保護者)および0.0%(従業者)と低調。 ・地域社会での体験や他児との活動機会の開拓・設定が不足している。	・近隣の保育所・学校・児童館等との交流機会の開拓や合同イベントの企画。 ・公園や公共施設利用を通じた地域社会での体験機会の計画的な設定と事前周知。
2	設備スペースの限界と医療的ケア看護体制の課題	・6名利用時に場所が狭くなり荷物・医療機器の配置が制限される。 ・看護師不足など医療的ケア児受入体制への不安が職員から挙げられている。 ・保護者から「浴室が広くなると介助しやすい」等の改修要望あり。	・定位置管理や専用ラック導入による有効床面積の拡張と動線の見直し。 ・常勤看護師の採用・増員計画の推進と、医療的ケア対応シフトの最適化。 ・浴室設備等の利用手順や介助負担軽減に向けた工夫・改善案の検討。
3	保護者向け交流・家族支援機会および安全マニュアル周知の不足	・保護者会・座談会やきょうだい向けイベントの開催が不十分(保護者評価42.9%、従業者0.0%)。 ・各種安全・防災・感染症マニュアルの策定・訓練実施の保護者への周知が不十分	・保護者同士の座談会やオンライン交流会、きょうだい参加可能イベントの企画。 ・事故防止・防犯・感染症マニュアルの要約版を保護者へ配布・周知。 ・年2回以上の避難・防災訓練の確実な実施と、その様子を通信等で共有。

【2025年度 Rosetta柴原】保護者向け放課後等デイサービス評価アンケート 集計・改善提案シート									
	総回答者数	平均「はい」率	高評価項目 (はい100%)	要改善項目 (50%未満)	意見記入 項目数				
	7	89.2%	20	2	7				
	有効回答名	全29問平均	良好判定	要改善判定	自由記述あり				
No.	大分類・区分	評価項目（設問内容）	回答数	はい (件)	いいえ (件)	はい率	判定	スタッフからの主な意見・現状	改善点・アクションプラン（2～3点）
1	環境・体制整備	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	7	7	0	100.0%	良好	「スペースは広くないが、とてもアットホームな雰囲気で良い」との肯定的な評価あり。	・現状の良好なレイアウト維持とコーナー分けの徹底 ・活動内容に応じた柔軟なスペース転換の実施 ・狭さを感じさせない動線確保と整理整頓の継続
2	環境・体制整備	職員の配置数は適切であると思いますか。	7	5	0	71.4%	一部改善	-	・時間帯別の活動負荷に応じた職員配置の最適化 ・送迎時や入浴・リハビリ等の個別対応時の補助体制見直し ・急な欠勤や増員時にも対応できるサポート体制の標準化
3	環境・体制整備	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	7	6	1	85.7%	一部改善	「昨年のリフォームにより環境がとても良くなっている」と構造化・設備の改善を評価する意見あり。	・昨年のリフォーム成果の維持と定期的な安全点検 ・視覚的支援（ピクトグラム・スケジュール表）の更なる充実 ・段差解消や車椅子・歩行器のスムーズな動線再確認
4	環境・体制整備	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	7	7	0	100.0%	良好	-	・毎日の清掃・消毒チェックリストの徹底継続 ・換気および快適な室温・湿度の維持管理 ・季節や活動に応じた掲示物・装飾の更新
5	適切な支援の提供	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	7	7	0	100.0%	良好	「送迎時の見通し伝達や個別リハビリなど、本人の特性に応じた支援を受けられて感謝している」との高評価あり。	・リハビリ・個別支援の効果的なプログラム継続 ・送迎時の見通し伝達など特性に応じた支援手法の全職員共有 ・専門職（PT/OT/ST）との定例カンファレンス開催
6	適切な支援の提供	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	7	7	0	100.0%	良好	-	・公表支援プログラムと日々の活動の定期的な整合性チェック ・支援内容の改定時には速やかにホームページ等へ反映 ・保護者への定期的なプログラム進捗報告の実施
7	適切な支援の提供	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	7	7	0	100.0%	良好	-	・定期的なモニタリングを通じたニーズの定期的再評価 ・保護者面談での要望ヒアリングと客観的アセスメントの維持 ・本人の成長段階に応じた短期・長期目標の適時見直し
8	適切な支援の提供	児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）には、ガイドラインの「本人支援」「家族支援」「移行支援」から必要な項目が適切に設定され、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	7	7	0	100.0%	良好	-	・「本人支援・家族支援・移行支援」の各項目の明確な記載維持 ・学校や地域社会との連携項目の具体化 ・児童発達支援管理責任者による計画案のダブルチェック体制
9	適切な支援の提供	児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）に沿った支援が行われていると思いますか。	7	7	0	100.0%	良好	-	・個別支援計画に基づく日々のケース記録の記載徹底 ・定期的な支援振り返りミーティングの実施 ・目標達成状況の保護者へのわかりやすいフィードバック
10	適切な支援の提供	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	7	7	0	100.0%	良好	-	・月替わりの創作・季節行事・感覚遊び等の多様なプログラム企画 ・子どもたちの興味・関心の変化に応じた柔軟なプログラム調整 ・職員間でのアイデア出しや他事業所の事例研究の推進
11	関係機関・地域連携	保育所や認定こども園、幼稚園等、または放課後児童クラブや児童館等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	7	1	1	14.3%	要改善	-	・近隣の保育所・児童館・学童クラブ等との交流機会の開拓 ・地域の行事や公園活動への積極的な参加計画の策定 ・交流活動の計画および実施状況を保護者へ事前・事後に周知
12	保護者への説明等	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	7	7	0	100.0%	良好	-	・契約・更新時の丁寧な重要事項・規程説明の継続 ・変更点が生じた際の迅速かつ分かりやすい案内文書の配布 ・新入職員への重要事項説明手順の研修徹底
13	保護者への説明等	「児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	7	7	0	100.0%	良好	-	・計画書面を提示しながらの対面説明・同意確認の徹底継続 ・目標設定の背景や具体的アプローチの分かりやすい解説 ・保護者の疑問や不安に寄り添う丁寧な対話時間の確保
14	保護者への支援	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	7	5	2	71.4%	一部改善	-	・ペアレント・トレーニング等の勉強会・研修の企画・年次実施 ・家庭で実践できる関わり方のハンドブック・通信の配布 ・オンライン参加可能な家族向け相談会・セミナーの検討

【2025年度 Rosetta柴原】保護者向け放課後等デイサービス評価アンケート 集計・改善提案シート									
	総回答者数	平均「はい」率	高評価項目 (はい100%)	要改善項目 (50%未満)	意見記入 項目数				
	7	89.2%	20	2	7				
	有効回答名	全29問平均	良好判定	要改善判定	自由記述あり				
No.	大分類・区分	評価項目（設問内容）	回答数	はい (件)	いいえ (件)	はい率	判定	スタッフからの主な意見・現状	改善点・アクションプラン（2～3点）
15	保護者への支援・連携	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	7	7	0	100.0%	良好	-	・連絡帳や送迎時における日々の健康・発達状況の密な共有継続 ・できたこと・成長の様子の積極的なフィードバック ・体調変化や気になる点に関する迅速な相互連絡体制の維持
16	保護者への支援	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	7	7	0	100.0%	良好	-	・半期ごとの定期面談の確実な日程調整と実施 ・個別課題に応じた実践的な子育て助言・家庭支援の提供 ・保護者が気軽に相談しやすい面談環境の整備
17	保護者への支援	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	7	7	0	100.0%	良好	-	・保護者の悩みや不安に寄り添う受容的・共感的な対話の継続 ・職員向け接遇・コミュニケーション研修の定期実施 ・チーム全体で保護者の思いを共有し組織的にサポート
18	保護者・家族への支援	父母の会の活動の支援や保護者会等の開催等による交流機会の設置、きょうだい向けイベントの開催等の支援がされていますか。	7	3	2	42.9%	要改善	-	・保護者同士が交流できる座談会・茶話会の年次開催検討 ・きょうだい児も参加できる季節イベント（夏祭り・工作等）の企画 ・交流会やイベントのニーズアンケートを事前に保護者へ実施
19	相談・苦情対応	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備・周知され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	7	6	0	85.7%	一部改善	-	・苦情解決責任者・担当者および受付窓口の掲示・通信での再周知 ・相談箱の設置やLINE・フォーム等での気軽な相談導線の強化 ・相談受付時の初動フローと対応記録の共有ルールの再徹底
20	情報伝達・コミュニケーション	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	7	7	0	100.0%	良好	-	・視覚支援ツールや分かりやすい言葉遣いでの伝達配慮の継続 ・保護者への連絡方法（電話・連絡帳・LINE）の希望に応じた対応 ・多忙な保護者でも確認しやすい連絡形式の工夫
21	情報発信・自己評価	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	7	7	0	100.0%	良好	「当日の活動様子や写真をLINE等で共有してもらえるのが嬉しい」と好評。	・LINE等を活用した当日の写真・活動報告の定期配信の継続 ・事業所だより等の定期的な発行と行事予定の早期案内 ・自己評価結果の公表と保護者への速やかな共有
22	個人情報保護	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	7	7	0	100.0%	良好	-	・写真・動画の取り扱い同意の徹底および管理体制の維持 ・個人情報保護に関する職員研修の年次実施 ・書類や電子データの保管・破棄ルールの厳格な遵守
23	非常時対応・安全管理	事業所では、事故防止・緊急時・防犯・感染症対応等の各種マニュアルが策定・周知され、発生を想定した訓練が実施されていますか。	7	4	0	57.1%	一部改善	-	・事故防止・防犯・感染症マニュアルの要約版を保護者へ配布・周知 ・マニュアルに基づくシミュレーション訓練の定期実施と記録化 ・保護者へ訓練実施状況や安全対策の取り組みを通信等で共有
24	非常時対応・防災	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	7	5	0	71.4%	一部改善	-	・年2回以上の避難・防災訓練の確実な実施と保護者への報告 ・災害時引き渡し手順や安否確認ソールの保護者向け説明 ・水害・地震等を想定した個別避難計画の策定と見直し
25	安全管理	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	7	7	0	100.0%	良好	-	・安全計画の年次見直しと保護者への分かりやすい周知 ・遊具・設備の始業前点検チェックリストの確実な運用 ・送迎車両の安全運行点検および安全装置の動作確認徹底
26	緊急時連絡・対応	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	7	6	0	85.7%	一部改善	-	・ヒヤリハット・事故発生時の即時連絡基準の全職員再徹底 ・発生時の状況・原因・再発防止策を明確にした説明手順の整備 ・怪我や急変時の初期対応・医療機関連携フローの確認
27	満足度・子どもの状況	こどもは安心感をもって通所していますか。	7	7	0	100.0%	良好	「思いをしっかりと受け止めてもらえる」「職員が優しくアットホームで安心」と通所の安心感に厚い信頼。	・子どもの安心感を育む温かい声かけと丁寧な受容の継続 ・本人の気持ちやサインを丁寧に汲み取る個別対応の強化 ・居心地の良い環境づくりと職員間の温かい雰囲気維持
28	満足度・子どもの状況	こどもは通所を楽しみにしていますか。	7	7	0	100.0%	良好	「通所当日の朝はいつもニコニコしている」と通所を心待ちにする声あり。	・子どもの興味や「できた!」を増やす達成感のある活動提供 ・登所時の笑顔での歓迎と楽しい雰囲気づくりの継続 ・季節ごとのイベントや特別アクティビティの充実

【2025年度 Rosetta柴原】保護者向け放課後等デイサービス評価アンケート 集計・改善提案シート									
	総回答者数	平均「はい」率	高評価項目 (はい100%)	要改善項目 (50%未満)	意見記入 項目数				
	7	89.2%	20	2	7				
	有効回答名	全29問平均	良好判定	要改善判定	自由記述あり				
No.	大分類・区分	評価項目（設問内容）	回答数	はい (件)	いいえ (件)	はい率	判定	スタッフからの主な意見・現状	改善点・アクションプラン（2～3点）
29	満足度	事業所の支援に満足していますか。	7	7	0	100.0%	良好	「活動・製作・リハビリや細やかな健康管理に大変満足」の一方、「浴室が広くなると介助しやすい」との改善要望あり。	・ 高い満足度を維持するための支援の質の継続的向上 ・ 浴室設備の利用手順や介助負担軽減のための工夫・改善検討 ・ 保護者からのフィードバックを迅速に日々の支援に還元

2025年度 従業者向け 放課後等デイサービス評価アンケート 集計・改善提案シート									
対象事業所: Rosetta柴原 回答者数: 3名 評価項目: 全60項目 集計元: フォームの回答 1									
		総回答者数	平均「はい」回答率	高評価項目数 (はい100%)		要改善項目数 (はい<50%)		意見記入項目数	
		3名	64.4%	23項目		21項目		11項目	
No.	大分類・区分	評価項目（設問内容）	回答数	はい (件)	いいえ (件)	はい率	判定	スタッフからの主な意見・現状	改善点・アクションプラン（2～3点）
1	環境・体制整備	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか	3件	1件	2件	33.3%	要改善	「6名利用になると、場所が狭く、荷物や医療機器などの置き場所が限られる」「物の配置や動線を考えてスペース作りしている」	・医療機器や荷物の定位置管理と専用収納ラック導入による有効床面積の拡張 ・利用人数やケア内容に応じた時間帯別動線の見直しと柔軟なレイアウト運用 ・フロア整理整頓ルールの明文化と毎日の環境整備点検の徹底
2	環境・体制整備	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか	3件	0件	3件	0.0%	要改善	「スタッフ数がいても医ケアできるスタッフがいない」「常勤看護師を増やすべきだと思う」	・医療的ケア児受入体制強化に向けた常勤看護師の採用・増員計画の推進 ・全スタッフを対象とした医療的ケア基礎知識およびサポート実務研修の実施 ・医ケア対応可能時間帯・配置シフトの最適化および緊急時対応手順の標準化
3	環境・体制整備	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また設備のバリアフリー化や情報伝達等の配慮がなされているか	3件	2件	1件	66.7%	一部改善	-	・ピクトグラムや写真カード、色分けを活用した生活空間の構造化の推進 ・動線上の段差や障害物の定期点検と車椅子・歩行器に配慮した環境改善 ・視覚・聴覚刺激を和らげる配慮（防音マット・カムダウンエリア）の導入
4	環境・体制整備	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また活動に合わせた空間となっているか	3件	2件	1件	66.7%	一部改善	「一人のスペースが限られることがあるため、心地よくは難しい時がある」	・仕切りやパーティションを活用した個別パーソナルスペースの確保 ・活動内容に応じた静的ゾーンと動的ゾーンの明確なゾーニング分け ・清掃・消毒・換気チェックリストの確実な運用による清潔で快適な環境維持
5	環境・体制整備	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか	3件	1件	2件	33.3%	要改善	「パーティションでの隔離が脱衣所になるが、脱衣所のカーテンはしっかり閉まらない」	・脱衣所カーテンの改修・密閉性確保によるプライバシー保護の徹底 ・可動式パーティション等の整備による安心できる個別・クールダウン空間の確保 ・個別スペース利用時の見守り手順・安全確認ルールの職員間での共通化
6	業務改善・PDCA・研修	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	3件	0件	3件	0.0%	要改善	-	・月次ミーティングを活用した個別支援目標と業務改善の定期振り返りの定例化 ・全職員が参画しやすい簡易な目標管理・業務改善提案フォーマットの導入 ・改善課題の進捗状況を可視化する事業所内ダッシュボードの共有
7	業務改善・PDCA・研修	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか	3件	1件	2件	33.3%	要改善	-	・保護者評価アンケート結果の速やかな職員全体共有と課題の優先順位付け ・保護者の意向や要望を反映した具体的アクションプランの策定 ・改善結果や取組状況の保護者だより等を通じた定期的なフィードバック
8	業務改善・PDCA・研修	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか	3件	2件	1件	66.7%	一部改善	「ミーティングで意見を述べることはできている」	・ミーティングで出た意見・課題の進捗管理表を作成し未対応事項を防止 ・口頭以外でも気軽に提案できる目安箱や匿名アンケート等の複数の意見収集 ・職員発の業務改善アイデアの好事例共有とモチベーション向上施策の実施
9	業務改善・PDCA・研修	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	3件	1件	2件	33.3%	要改善	-	・福祉サービス第三者評価の受審計画の検討と実施スケジュールの具体化 ・客観的な外部評価結果を踏まえた事業所運営の強み・課題の洗い出し ・外部視点を取り入れた改善目標の中長期事業計画への反映
10	業務改善・PDCA・研修	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか	3件	1件	2件	33.3%	要改善	「施設内研修のスケジュールはあるが、準備や開催日が確保できない」	・業務時間内に無理なく参加できる15分ミニ研修（マイクロラーニング）の導入 ・eラーニング教材や外部録画動画の活用による柔軟な自己研鑽機会の確保 ・研修担当者の負担を分散する持ち回り制の導入と資料の共有ライブラリ化
11	業務改善・PDCA・研修	適切に支援プログラムが作成、公表されているか（事業所の取組等の見える化・公表）	3件	2件	1件	66.7%	一部改善	-	・支援プログラム最新版のホームページおよび事業所内掲示板への常時公表 ・契約時・更新時における保護者への支援プログラムの丁寧な書面説明の徹底 ・国のガイドライン改定や法改正に応じたプログラム内容の定期的な見直し
12	適切な支援の提供	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、ニーズや課題を客観的に分析した上で計画を作成しているか	3件	3件	0件	100.0%	良好	-	・標準化アセスメントシートの活用による客観的なニーズ・課題分析の徹底 ・保護者への聞き取り項目の見直しと真のニーズを引き出すヒアリングの実施 ・アセスメント結果と個別支援計画の目標設定の整合性点検の仕組み化
13	適切な支援の提供	計画作成時に児発管だけでなく支援に関わる職員が共通理解の下で最善の利益を考慮した検討が行われているか	3件	1件	2件	33.3%	要改善	-	・児発管だけでなく直接支援に関わる全スタッフ参加のケース会議の定期開催 ・「こどもの最善の利益」の観点を評価するチェックリストの導入 ・パート職員や専門職の意見も吸い上げる事前ヒアリングシートの活用

2025年度 従業者向け 放課後等デイサービス評価アンケート 集計・改善提案シート									
対象事業所: Rosetta紫原 回答者数: 3名 評価項目: 全60項目 集計元: フォームの回答 1									
		総回答者数	平均「はい」回答率	高評価項目数 (はい100%)		要改善項目数 (はい<50%)		意見記入項目数	
		3名	64.4%	23項目		21項目		11項目	
No.	大分類・区分	評価項目（設問内容）	回答数	はい (件)	いいえ (件)	はい率	判定	スタッフからの主な意見・現状	改善点・アクションプラン（2～3点）
14	適切な支援の提供	計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか	3件	1件	2件	33.3%	要改善	「できてる人とできていない人がいてる」	・朝礼や申し送りでの個別支援ポイント・目標の重点確認の定例化 ・計画内容の要約シート（支援の要点カード）の作成と常時携帯・確認の徹底 ・支援実践度に関するセルフチェックと定期的な振り返り面談の実施
15	適切な支援の提供	標準化されたツールのフォーマルアセスメントや日々の観察等のインフォーマルアセスメント等で状況を確認しているか	3件	2件	1件	66.7%	一部改善	-	・標準化ツールを用いたフォーマルアセスメントの計画的実施とスキル習得 ・日々の行動観察によるインフォーマルアセスメント記録のフォーマット統一 ・フォーマルとインフォーマルの両面から総合的に評価する分析プロセスの確立
16	適切な支援の提供	ガイドラインの4領域（本人・家族・移行・地域連携）のねらいを踏まえ、具体的支援内容が設定されているか	3件	3件	0件	100.0%	良好	-	・計画書様式にガイドライン4領域（本人・家族・移行・地域連携）を明確に区分 ・4領域それぞれのねらいに対応する具体的な支援内容と目標水準の設定 ・定期モニタリングにおける各領域の達成度評価のバランス確認の徹底
17	適切な支援の提供	活動プログラムの立案をチームで行っているか	3件	1件	2件	33.3%	要改善	-	・月次プログラム企画ミーティングの定例化と全職員からの企画アイデア募集 ・ペア制・チーム制による多角的な視点を取り入れた活動プログラムの立案 ・立案プログラムの難易度や安全性を事前に検証するレビュー体制の構築
18	適切な支援の提供	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	3件	3件	0件	100.0%	良好	-	・季節行事・感覚統合・創作などテーマを多様化させたプログラムライブラリの整備 ・こどもの興味や発達段階に応じた難易度調整・バリエーションの確保 ・固定化を防ぐための過去プログラム実績の棚卸しと新規活動の定期導入
19	適切な支援の提供	こどもの状況に応じて個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、計画を作成し支援が行われているか	3件	2件	1件	66.7%	一部改善	-	・日課スケジュールにおける個別課題時間と集団活動時間のメリハリの設定 ・集団活動への参加が難しい場合の個別スモールステップ支援の設計 ・個別活動で培ったスキルを集団の場で発揮できる連携プログラムの導入
20	適切な支援の提供	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、支援内容や役割分担を確認しチームで連携しているか	3件	2件	1件	66.7%	一部改善	-	・支援開始前の10分ショートミーティングの必須化と進行チェック表の運用 ・当日のこどもの心身状態や役割分担（主担当・サブ・見守り）のホワイトボード可視化 ・時差出勤職員への引継ぎ事項の連絡ノート・チャット等による確実な伝達
21	適切な支援の提供	支援終了後には職員間で必ず打合せを行い、振り返りや気付いた点等を共有しているか	3件	1件	2件	33.3%	要改善	-	・支援終了後の15分ミニ終礼の定例化と気付き・成果・課題の迅速な共有 ・日中の活動で生じたヒヤリや変化を即座に記録・報告するメモツールの活用 ・翌日の担当者への申し送り事項の明確化と重要事項の記録システムへの反映
22	適切な支援の提供	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	3件	3件	0件	100.0%	良好	-	・業務支援ソフトの活用による記録入力効率化と即日記録完了の徹底 ・観察記録の客観性と具体性を高めるための記録マニュアル・文例集の整備 ・週次・月次での記録分析を通じた支援内容の検証とPDCAへの反映
23	適切な支援の提供	定期的にモニタリングを行い、計画の見直しの必要性を判断し適切な見直しを行っているか	3件	1件	2件	33.3%	要改善	-	・モニタリング期日（半年毎等）のリマインダー管理と実施漏れゼロの維持 ・こどもの状況変化や環境移行に応じた随時モニタリングの柔軟な実施 ・モニタリング結果の保護者への丁寧な報告と計画見直しの合意形成の徹底
24	適切な支援の提供	【放デイのみ】放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ、支援を行っているか	3件	3件	0件	100.0%	良好	-	・月間計画表における4つの基本活動（本人・家族・移行・地域）の明示 ・日々の支援記録に該当カテゴリをタグ付けし実施バランスを可視化 ・手簿になりがちな「移行支援」「地域支援」に焦点を当てた特別プログラムの企画
25	適切な支援の提供	【放デイのみ】こどもが自己選択できるような工夫がされている等、自己決定をする力を育てる支援を行っているか	3件	2件	1件	66.7%	一部改善	-	・遊びやおやつ、活動手順などを自分で選べる「選択カード・ボード」の活用 ・「自分で決めて達成する」成功体験を促す意図的な場面設計の強化 ・こどもの選択を尊重し待つ姿勢の職員間での共通理解と声かけマニュアル化
26	関係機関連携・インクルージョン	サービス担当者会議や関係機関との会議に、こどもの状況をよく理解した者が参画しているか	3件	3件	0件	100.0%	良好	-	・児童の担当者または児発管によるサービス担当者会議への出席率100%維持 ・事業所での様子や支援実績をまとめた事前情報提供シートの標準化 ・会議での決定事項および他事業所の支援方針の速やかな事業所内共有
27	関係機関連携・インクルージョン	地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか	3件	2件	1件	66.7%	一部改善	-	・主治医・訪問看護・相談支援事業所・学校等との連絡網の定期更新 ・医療的ケア児等の緊急時対応フローの関係機関との事前すり合わせ ・多機関合同ケース会議への積極的な参画と情報連携の強化

2025年度 従業者向け 放課後等デイサービス評価アンケート 集計・改善提案シート									
対象事業所: Rosetta紫原 回答者数: 3名 評価項目: 全60項目 集計元: フォームの回答 1									
		総回答者数	平均「はい」回答率	高評価項目数 (はい100%)		要改善項目数 (はい<50%)		意見記入項目数	
		3名	64.4%	23項目		21項目		11項目	
No.	大分類・区分	評価項目（設問内容）	回答数	はい (件)	いいえ (件)	はい率	判定	スタッフからの主な意見・現状	改善点・アクションプラン（2～3点）
28	関係機関連携・インクルージョン	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じて助言や助成を受ける機会を設けているか	3件	0件	3件	0.0%	要改善	-	・地域児童発達支援センターの相談窓口・専門支援機能の把握と定例相談の確保 ・支援が困難な事例に対する専門的助言（スーパーバイズ）の積極的受入れ ・受けた助言を事業所内のケース会議で共有し日々の支援へ落とし込む体制整備
29	関係機関連携・インクルージョン	保育所・学校・児童館等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか	3件	0件	3件	0.0%	要改善	-	・近隣の保育所・幼稚園・児童館等との交流イベントや合同活動の企画 ・公園や公共施設利用を通じた地域社会での体験機会の計画的な設定 ・地域ボランティアや実習生の受入れ体制づくりによる外部交流の活性化
30	関係機関連携・保護者連携	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、発達の状況や課題について共通理解を持っているか	3件	3件	0件	100.0%	良好	-	・連絡帳や連絡アプリを通じた日々の具体的エピソードや小さな成長の共有徹底 ・送迎時の短い時間でも双方向の対話を生み出す丁寧な声かけの励行 ・体調変化や課題が見られた際の早期電話相談やミニ面談の迅速な実施
31	家族支援・研修機会	家族の対応力向上のため、ペアレント・トレーニング等の支援プログラムや研修等の機会・情報提供を行っているか	3件	1件	2件	33.3%	要改善	-	・保護者向けペアレント・トレーニング等の講座や勉強会の定期開催検討 ・家庭での関わり方に役立つ療育通信や動画・ハンドブックの情報提供 ・外部機関が主催する家族支援セミナーや研修情報の積極的な案内・共有
32	インクルージョン・移行支援	【児発のみ】併行利用や移行に向けた支援等、インクルージョン推進の観点から関係機関と情報共有・相互理解を図っているか	3件	3件	0件	100.0%	良好	-	・保育所・幼稚園等との保育所等訪問支援や定期的な支援情報交換の推進 ・園での生活リズムや集団生活の課題を把握するための連絡シートの運用 ・併行通園先との支援方針のすり合わせと相互理解を深める定期カンファレンス
33	インクルージョン・移行支援	【児発のみ】就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校との間で支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	3件	3件	0件	100.0%	良好	-	・小学校・特別支援学校への「就学支援シート」等の確実な引継ぎと共有 ・保護者の就学に対する不安を解消する就学相談会や見学会同行等のサポート ・就学後の初期適応状況のフォローアップと放デイ等への円滑な連携体制構築
34	関係機関連携・インクルージョン	【児発センターのみ】地域の他のセンターや事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組を行っているか	3件	0件	3件	0.0%	要改善	-	・地域内の他の通所事業所やセンターとの情報交換会・連絡会への参加 ・地域全体の療育支援の質向上を目的とした事例検討会への参画 ・事業所の得意分野や支援ノウハウの地域への共有と相互研鑽の推進
35	業務改善・PDCA・研修	【児発センターのみ】質の向上を図るため、専門家等から助言を受けたり職員を外部研修に参加させているか	3件	1件	2件	33.3%	要改善	-	・外部の専門職（ST・OT・PT等）による巡回指導・専門助言の定期導入 ・都道府県や自治体が主催する専門研修への計画的な職員派遣 ・外部研修受講後の伝達講習会の開催による事業所全体への知識還元
36	関係機関連携・インクルージョン	【児発センターのみ】(自立支援)協議会・こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	3件	2件	1件	66.7%	一部改善	-	・地域自立支援協議会・こども部会等の年間スケジュール把握と担当者の参画 ・協議会で共有される地域課題や施策方針の職員会議での定期報告 ・地域の子育て支援ネットワーク構築に向けた専門部会への協力
37	関係機関連携・学校連携	【放デイのみ】学校との情報共有（計画・予定・下校時刻等）、連絡調整（送迎対応・トラブル時）を適切に行っているか	3件	3件	0件	100.0%	良好	-	・各学校の年間行事予定や下校時刻変更の事前回収と運行管理の連動 ・送迎時における学校担任との直接対面による情報共有と連絡メモの徹底 ・学校での体調不良やトラブル発生時の緊急連絡体制・対応手順の整備
38	関係機関連携・移行支援	【放デイのみ】就学前に利用していた保育所・幼稚園・児発事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	3件	3件	0件	100.0%	良好	-	・新規利用児の就学前利用機関（保育園・児発等）からの支援情報引き継ぎの徹底 ・過去の支援記録や配慮事項を分析した初期支援計画への確実な反映 ・就学前機関の担当者とのケースバイケースの情報交換窓口の確保
39	関係機関連携・移行支援	【放デイのみ】卒業後に障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供しているか	3件	3件	0件	100.0%	良好	-	・卒業後の進路先（就労支援・生活介護等）を見据えた個別移行支援計画の策定 ・移行先事業所への詳細な申し送り書の作成と丁寧な引継ぎ面談の実施 ・卒業後の生活定着を確認するアフターフォロー体制と相談窓口の確保
40	関係機関連携・インクルージョン	【放デイのみ】(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	3件	3件	0件	100.0%	良好	-	・自立支援協議会等の定例会議への計画的な参加と情報収集の継続 ・相談支援専門員や他分野の関係者との顔の見える連携関係の強化 ・協議会で得られた地域資源や好事例の事業所運営への積極的導入
41	保護者対応・情報公開	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	3件	2件	1件	66.7%	一部改善	-	・重要事項説明書・運営規程のわかりやすいスライドや要約版の作成・活用 ・利用料や実費徴収に関する事前案内と改定時の丁寧な個別説明の徹底 ・契約・更新時における重要事項確認チェックリストの運用による説明漏れ防止

2025年度 従業者向け 放課後等デイサービス評価アンケート 集計・改善提案シート									
対象事業所: Rosetta紫原 回答者数: 3名 評価項目: 全60項目 集計元: フォームの回答 1									
		総回答者数	平均「はい」回答率	高評価項目数 (はい100%)		要改善項目数 (はい<50%)		意見記入項目数	
		3名	64.4%	23項目		21項目		11項目	
No.	大分類・区分	評価項目（設問内容）	回答数	はい (件)	いいえ (件)	はい率	判定	スタッフからの主な意見・現状	改善点・アクションプラン（2～3点）
42	適切な支援・保護者意向	計画作成時にはこどもや保護者の意思の尊重、最善の利益優先考慮を踏まえ、意向を確認する機会を設けているか	3件	3件	0件	100.0%	良好	-	・個別面談時におけるこども本人の希望や意思を引き出すツール（イラスト等）の活用 ・保護者の想いとこどもの最善の利益を調和させる傾聴・相談体制の充実 ・把握した意向を個別支援計画書のアセスメント欄へ明確に文章化する徹底
43	適切な支援・計画同意	計画を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	3件	3件	0件	100.0%	良好	-	・支援計画書の手交・説明面談の計画的日程設定と同意書の確実な受領 ・専門用語を平易な表現に置き換えた分かりやすい目標説明の工夫 ・同意取得状況のトラッカーによる進捗管理と未回収防止の徹底
44	保護者対応・相談支援	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか	3件	2件	1件	66.7%	一部改善	-	・年2回以上の定期個別面談の年間スケジュール化と事前予約制の確立 ・日頃の悩みも気軽に相談できる窓口の保護者への常時周知 ・面談記録の確実な作成と相談内容を反映した支援プランの修正・実行
45	保護者支援・交流機会	父母の会支援や保護者会等の開催により、保護者同士やきょうだい同士が交流する機会を設ける等の支援をしているか	3件	0件	3件	0.0%	要改善	-	・保護者同士が悩みや工夫を共有できる座談会・ペアレントサロンの定期開催 ・きょうだい児も一緒に参加して楽しめる季節行事やファミリーデーの企画 ・平日・休日やオンライン（Zoom）等、参加しやすい開催形態の工夫
46	苦情・相談対応体制	相談や苦情、申入れについて対応体制を整備・周知し、迅速かつ適切に対応しているか	3件	2件	1件	66.7%	一部改善	-	・苦情受付担当者・責任者・第三者委員の連絡先一覧の事業所内掲示とパンフ明記 ・苦情や要望を受けた際の初動対応マニュアルの職員全体研修の実施 ・苦情対応記録簿の作成と原因分析・再発防止策の職員共有の仕組み化
47	広報・情報発信	定期的に通信を発行することやHP・SNS等を活用し、活動概要や行事予定等の情報を発信しているか	3件	2件	1件	66.7%	一部改善	「SNSが更新できていない」	・月1回の事業所だより（活動報告・行事予定）の定期発行スケジュールの確立 ・SNS更新担当チームの編成と月間投稿カレンダー（活動風景等の発信）の運用 ・個人情報保護・写真掲載許諾を徹底した安全で魅力的な情報発信の推進
48	コンプライアンス・情報管理	個人情報の取扱いに十分留意しているか	3件	3件	0件	100.0%	良好	-	・個人情報管理規程の年次周知と全職員からの秘密保持誓約書の更新 ・児童記録・指導記録の施錠保管および端末アクセス権限・パスワード管理の徹底 ・送迎車内や外出先での書類・タブレット等の紛失防止手順の再確認
49	配慮・情報伝達	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	3件	3件	0件	100.0%	良好	-	・絵カード、写真、スケジュール表など視覚的支援ツールの全室常備 ・外国籍や障がい特性等に応じたルビ付き資料・分かりやすい表現での案内作成 ・こどもの非言語的サイン（視線・身振り）を読み取る支援スキルの職員間共有
50	地域連携・開放	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか	3件	2件	1件	66.7%	一部改善	「てのひら展の開催をしているので、地域の方へ広げていけたらと思う」	・「てのひら展」の地域住民や近隣学校・関係機関への案内強化とPR推進 ・事業所見学ワークや作品展など地域住民が参加しやすいオープン行事の企画 ・地域広報紙や公共スペースへのポスター掲示等による地域交流の活性化
51	保護者対応・相談支援	【放デイのみ】家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか	3件	3件	0件	100.0%	良好	-	・学齢期特有の課題（学習面・友人関係・思春期）に対応する専門相談体制の整備 ・家庭での生活リズムや自立支援に関する具体的助言シートの提供 ・保護者の将来への不安を軽減する進路・就労等に関する個別相談機会の充実
52	非常時対応・安全管理	各種マニュアル（事故防止・緊急時・防犯・感染症）を策定・周知し、発生を想定した訓練を実施しているか	3件	1件	2件	33.3%	要改善	「家族へ周知できていない」	・各種マニュアル要約版の保護者向け配布および事業所内閲覧コーナーの設置 ・不審者対応・事故防止・感染症予防に関する職員訓練の年2回以上の定例実施 ・訓練実施の様子や安全対策の取組状況の保護者通信等での定期的な報告
53	非常時対応・安全管理	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害に備え定期的に避難・救出等の訓練を行っているか	3件	2件	1件	66.7%	一部改善	-	・自然災害および感染症まん延時を想定したBCP（業務継続計画）の最新化 ・児童参加型の避難訓練・引渡し訓練の年2回以上の確実な実施 ・非常用備蓄品（保存食・水・医療機器予備バッテリー等）の定期点検と補充運用
54	健康管理・医療的ケア	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	3件	3件	0件	100.0%	良好	-	・健康状況・服薬内容・アレルギー・既往歴の受入時における最新情報の確認 ・てんかん発作等への緊急対応手順書（個別プロトコル）の作成と全員把握 ・日々のバイタルチェック・健康観察の徹底と異常時の迅速な主治医・家族連携

2025年度 従業者向け 放課後等デイサービス評価アンケート 集計・改善提案シート									
対象事業所: Rosetta柴原 回答者数: 3名 評価項目: 全60項目 集計元: フォームの回答 1									
	総回答者数		平均「はい」回答率	高評価項目数 (はい100%)		要改善項目数 (はい<50%)		意見記入項目数	
	3名		64.4%	23項目		21項目		11項目	
No.	大分類・区分	評価項目（設問内容）	回答数	はい (件)	いいえ (件)	はい率	判定	スタッフからの主な意見・現状	改善点・アクションプラン（2～3点）
55	健康管理・アレルギー対応	食物アレルギーのあることについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	3件	3件	0件	100.0%	良好	-	・医師の診断書・生活管理指導表に基づく食物アレルギー対応の徹底 ・誤食防止のための個別色分けトレー・専用調理器具の導入と配膳二重チェック ・エビベン使用訓練およびアナフィラキシー初動対応手順の定期シミュレーション
56	非常時対応・安全管理	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修・訓練その他必要な措置を講じる等、十分な安全管理のもと支援しているか	3件	1件	2件	33.3%	要改善	-	・事業所安全計画の年次策定・見直しサイクルの確立と職員全員への浸透 ・送迎車両の安全点検・乗降時安全確認・置き去り防止装置の動作確認の徹底 ・室内遊具や施設設備の安全点検チェックリストの運用と破損個所の即時補修
57	非常時対応・安全管理	こどもの安全確保に関して家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について家族等へ周知しているか	3件	1件	2件	33.3%	要改善	-	・安全計画の概要および事故防止・災害対策の取組の保護者への書面周知 ・緊急時連絡フローや安否確認ツールの利用方法の保護者への事前案内徹底 ・安全面に関する保護者アンケート項目の新設とフィードバックの反映
58	ヒヤリハット・再発防止	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか	3件	3件	0件	100.0%	良好	「その日の会で対策を話し合っている」	・当日の即時対策に加え、月次でのヒヤリハット集計と発生傾向の分析の定例化 ・軽微なヒヤリハットも安心して報告できる職場風土（非難しない文化）の徹底 ・策定した再発防止策が有効に機能しているかを追跡確認する評価ステップの導入
59	人権擁護・虐待防止	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	3件	3件	0件	100.0%	良好	-	・障害者虐待防止マニュアルの整備と年1回以上の全職員対象研修の必須化 ・不適切な関わり（アンチパターン）の事例検討と職員間相互チェックの定例化 ・相談窓口の周知と職員のメンタルヘルスケアによる職場ストレスの低減
60	人権擁護・身体拘束適正化	やむを得ず身体拘束を行う場合について組織的に決定し、事前説明・了解の上、計画に記載しているか	3件	3件	0件	100.0%	良好	-	・身体拘束適正化指針の策定と身体拘束適正化検討委員会の定期開催 ・やむを得ず行う場合の3要件（切迫性・非代替性・一時性）の組織的判断・記録の徹底 ・保護者への事前説明・書面同意の確実な取得と身体拘束を行わない代替ケアの追求